

基準雨量を超えた場合に出される「記録的短時間大雨情報」や、広域で災害が起こる可能性がある場合の大雨などに関する気象情報が気象庁や各気象台から発表されます。また民間気象会社でも特定ユーザーに対して臨時の情報として対処しています。しかし伝えかた次第では、相手（視聴者や防災担当者）に十分理解されない情報になってしまうことや、インパクトの弱い情報になってしまうこともありえますから、情報内容にも工夫が必要です。

4. おわりに

これまで述べてきたことは、民間気象事業のうち、気象情報・予測情報業務にかかわる現状や課題でした。民間気象業務では、そのほかにコンサルタント業務、

海洋波浪予測業務、情報伝達業務、営業業務など様々な業務がおこなわれています。それぞれが連携しあって事業を推進して、一つの組織が成り立っているのです。

また、総合的な気象サービスをおこなっている所もあれば、特定分野のサービス（たとえば雷情報等）をおこなっている所もあります。

民間気象会社のやっていることが、あまりにも多様化しているため、かなり独断と偏見でこれまで述べたところがあるかも知れません。そのほかの業務に興味のある方は、民間気象会社にどんどん問い合わせ下さい。私たちが答えられる範囲で応対をさせていただきます。



教員（アラスカ大学 IARC）の公募

公募人員 助教授または講師 1 名

公募内容 アラスカ大学フェアバンクス校に日米の共同出資による国際北極圏研究センター（IARC）が創立しました。IARC の地球フロンティアグループでは、気候気象解析およびモデリングに携わる助教授または講師 1 名を募集します。極域気候モデルを用いた研究も歓迎します。観測的研究と数値モデルを用いた理論的研究の双方に経験のある方が望まれます。採用されますと、センターの大気科学グループや地球フロンティア研究員と共同で北極圏の地球物理学全般の研究に参加できます。日本からも応募できる海外ポストの案内です

応募資格：大気科学またはその周辺分野の博士号取得者（採用日までに取得が条件）、国籍を問いませんが、労働ビザが最低必要になります。

雇用期間：5 年間の期限付き

応募方法：履歴書と主な研究業績ならびに今後の研究計画（英文）を以下の宛先に郵送してください。カバーレターには照会者として 3 名以上の連絡先をご記入ください。

Dr. Uma Bhatt, Chair,
Atmospheric Scientist Search Committee,
Geophysical Institute,
University of Alaska Fairbanks
P. O. Box 757320, Fairbanks, AK 99775-7320
USA

採用選考開始：1999年10月1日

公募締め切り：採用が確定するまで受け付けます。

その他：労働組合への加入が義務づけられています。

アラスカ大学フェアバンクス校は雇用機会均等法で定められた教育機関であり、提出された申請書の個人情報には法の下で公開されることが義務づけられています。

問い合わせ先：詳細は以下のホームページを参照されるか、田中 博（筑波大学地球科学系）にお問い合わせください。

Tel：0298-53-4502 Fax：0298-51-9764

e-mail：tanaka@atm.geo.tsukuba.ac.jp

http://www.frontier.iarc.uaf.edu:8080

http://www.gi.alaska.edu/AtmosSci